



日本金銭機械株式会社 (証券コード: 6418)

2022年3月期 通期決算補足資料



2022年5月

目次

- ・2022年3月期 通期業績概要 .. 2~6
- ・2022年3月期 セグメント別業績概要 .. 7~12
- ・2023年3月期 通期業績予想 .. 13
- ・利益還元 .. 14
- ・参考資料 .. 15~28

■ 前期比増収・黒字転換

- 新型コロナウイルスの感染再拡大の影響を受けつつも、経済活動の回復に伴う需要を取り込むべく営業活動を実施し、特に海外市場でマーケットが好調に推移したこともあり、前期比で増収
- 利益面では、増収要因に加えて前期に実施した希望退職者の募集や減損損失の計上による人件費、減価償却費の減少やその他経費の削減などにより、3期ぶりに利益を計上

■ 2022年3月期 期末配当については5円とする

新型コロナウイルスの影響を受けて業績が悪化したことで2021年3月期中間期以降、無配としておりましたが、2022年3月期の期末配当で復配

2022年3月期 通期業績概要

単位：百万円



	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比		2022/3 2/9修正予想	2/9修正予想比	
			率	増減額		率	増減額
売上高	17,010	20,040	+17.8%	+3,029	20,200	△ 0.8%	△ 160
グローバルゲーミング	8,077	10,093	+25.0%	+2,015	10,100	△ 0.1%	△ 7
(内数) プリンター事業	(2,207)	(3,357)	(+52%)	(+1,150)	(3,600)	(△7%)	(△243)
海外コマース	2,746	4,361	+58.8%	+1,614	4,400	△ 0.9%	△ 39
(内数) プリンター事業	(31)	(57)	(+84%)	(+26)	(50)	(+14%)	(+ 7)
国内コマース	1,704	1,839	+ 7.9%	+ 135	1,770	+ 3.9%	+ 69
遊技場向機器	4,482	3,746	△16.4%	△736	3,930	△ 4.7%	△184
営業利益	△15.2% △2,589	2.8% 568	—	+18.0pt +3,157	2.7% 550	—	+0.1pt + 18
経常利益	△17.1% △2,902	6.9% 1,384	—	+24.0pt +4,287	5.0% 1,000	—	+1.9pt + 384
当期純利益	△44.4% △7,558	3.0% 605	—	+47.4pt +8,163	3.0% 600	—	- pt + 5

平均為替 レート	米ドル	106.44円	110.37円	+ 3.93 円	110.37円	- 円
	ユーロ	121.95円	130.37円	+ 8.42 円	130.37円	- 円

2022年3月期 通期業績概要

単位:百万円



	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比 増減	2022/3 2/9修正予想	2/9修正予想比 増減
営業利益	△15.2% △2,589	2.8% 568	+18.0pt +3,157	2.7% 550	+0.1pt + 18
営業外損益	△ 313	+ 816	+1,129	+ 450	+366
(主な項目) 為替差損益	+ 127	+ 490	+ 362	+ 145	+345
債務免除益	—	+ 214	+ 214	+ 214	—
希望退職関連費用	△ 469	—	+ 469	—	—
経常利益	△17.1% △2,902	6.9% 1,384	+24.0pt +4,287	5.0% 1,000	+1.9pt + 384
特別損益	△5,338	△ 0	+5,338	0	△ 0
(主な項目) 減損損失	△5,658	—	+5,658	—	—
固定資産売却益	323	—	△ 323	—	—
税引前利益	△48.4% △8,241	6.9% 1,384	+55.3pt +9,625	5.0% 1,000	+1.9pt + 384
法人税等	△ 682	779	+1,462	400	+ 379
当期純利益	△44.4% △7,558	3.0% 605	+47.4pt +8,163	3.0% 600	- pt + 5

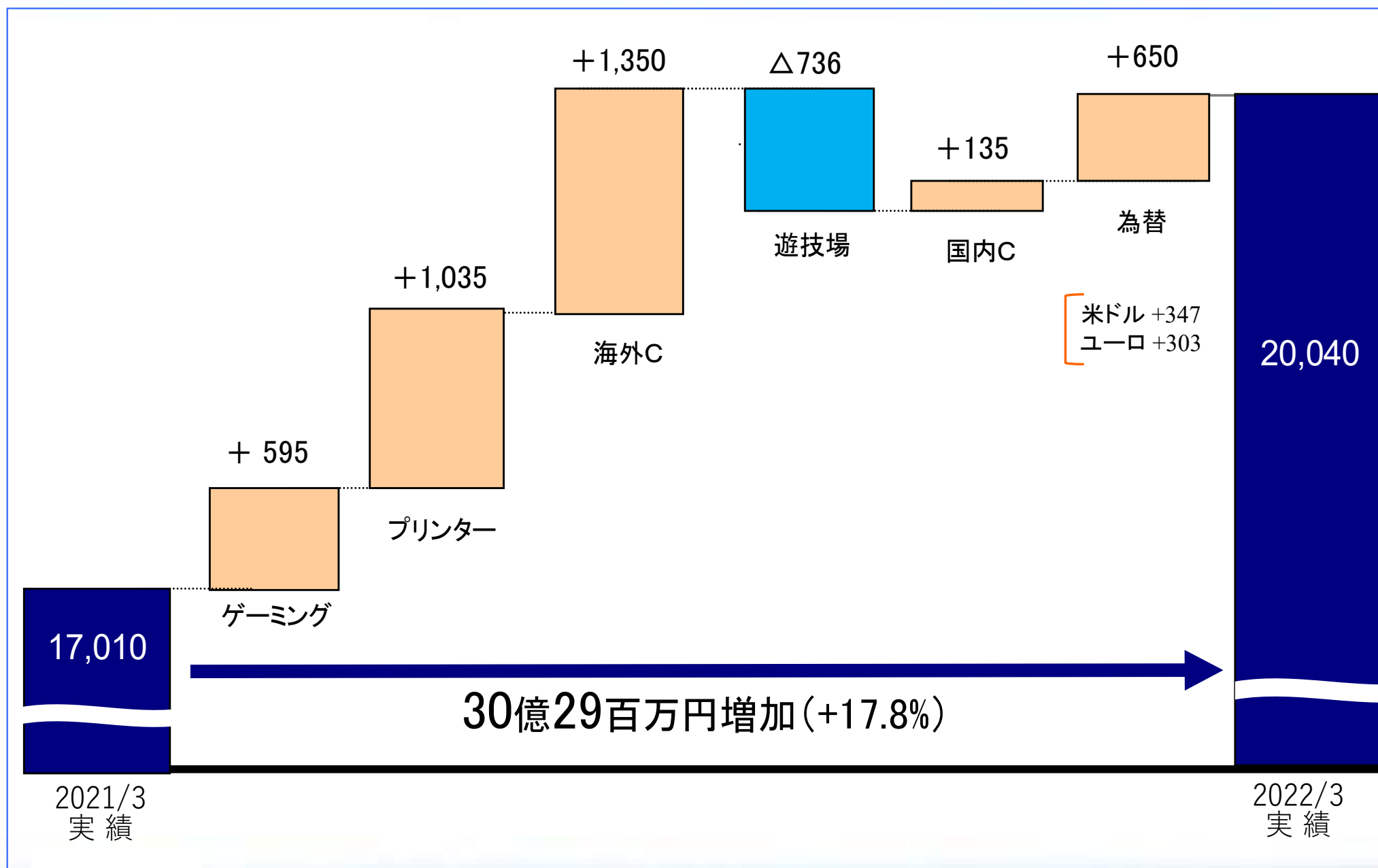
決算期末日レート (米ドル)

前期決算期末	108.83円	110.72円	110.72円
	↓ + 1.89	↓ +11.69	↓ + 4.28
当決算期末	110.72円	122.41円	115.00円

- ・ 決算期末にかけて円安が進行したことによる為替差益や海外子会社での債務免除益の計上により、営業外収益8億74百万円を計上
- ・ 繰延税金資産の取り崩しに伴い、法人税等調整額9億83百万円を計上

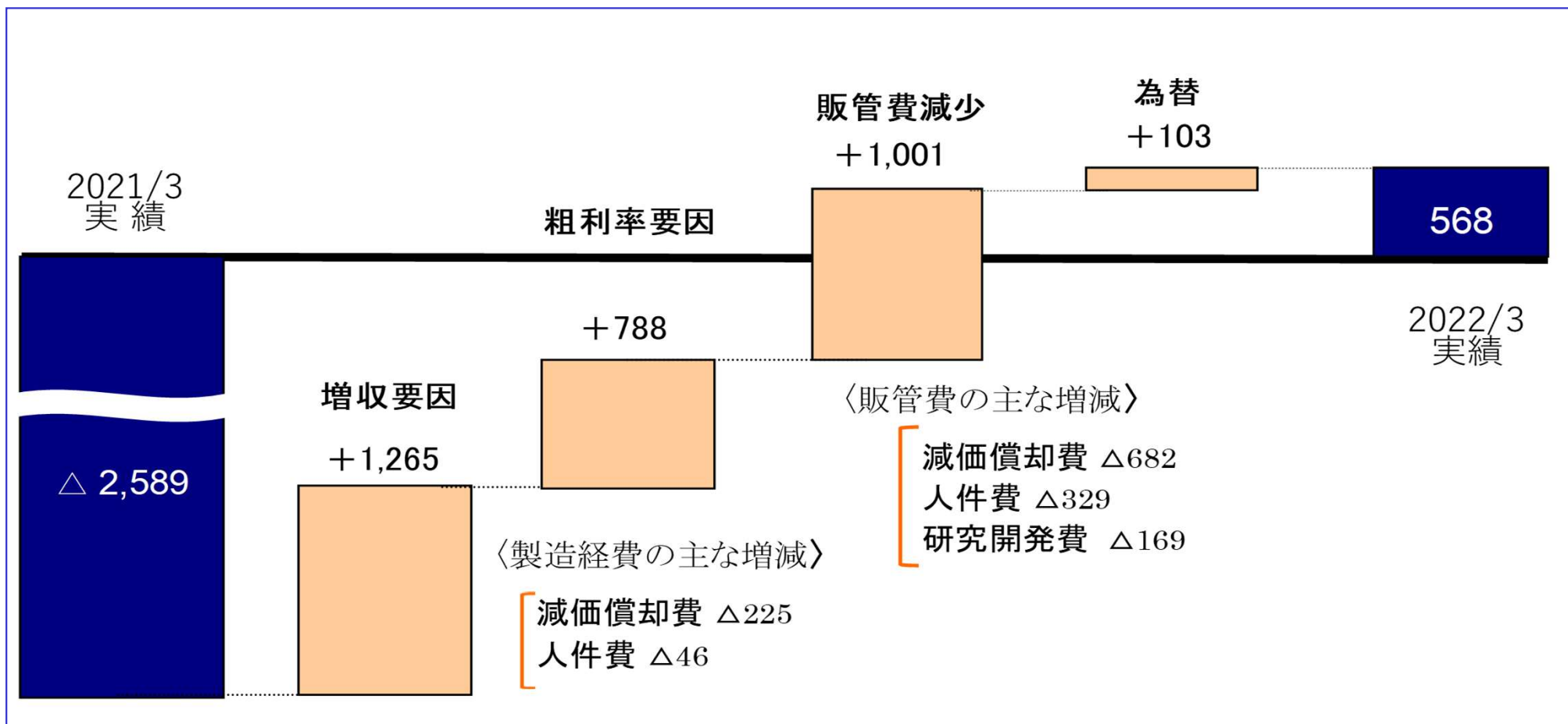
売上高増減要因（前期比）

単位：百万円



営業利益増減要因（前期比）

単位：百万円



増収要因に加えて、前期に実施した希望退職者の募集と減損損失の計上による人件費・減価償却費、及び研究開発費の抑制による減少が営業利益増加の大きな要因

2022年3月期 セグメント別業績

単位:百万円



		売上高			営業利益(率)		
		2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 実績
グローバル ゲーミング	外貨(千米ドル)	94,799	51,230	75,647			
	外貨(千ユーロ)	33,137	21,519	13,375	10.3%	△ 6.0%	14.6%
	邦貨(百万円)	14,405	8,077	10,093	1,486	△ 486	1,475
海外 コマーシャル	外貨(千米ドル)	9,275	11,620	13,013			
	外貨(千ユーロ)	13,186	12,379	22,434	△33.4%	△28.8%	4.8%
	邦貨(百万円)	2,624	2,746	4,361	△ 877	△ 791	209
国内 コマーシャル		2,795	1,704	1,839	16.2%	6.7%	4.7%
遊技場向機器		6,283	4,482	3,746	△ 2.4%	△22.0%	△10.5%
調整額		—	—	—	△ 1,643	△ 439	△ 811
連結		26,109	17,010	20,040	△ 2.8%	△15.2%	2.8%
					△ 730	△ 2,589	568
海外売上高	外貨(千米ドル)	103,002	61,086	87,691			
	外貨(千ユーロ)	46,323	33,898	35,809			
		64.8%	62.5%	71.6%			
	邦貨(百万円)	16,913	10,636	14,347			

(注)表中の「調整額」は、各セグメントに配分していない全社費用です。

各セグメントの主な製品は、NO. 23, 24ご参照

2022年3月期 セグメント別実績

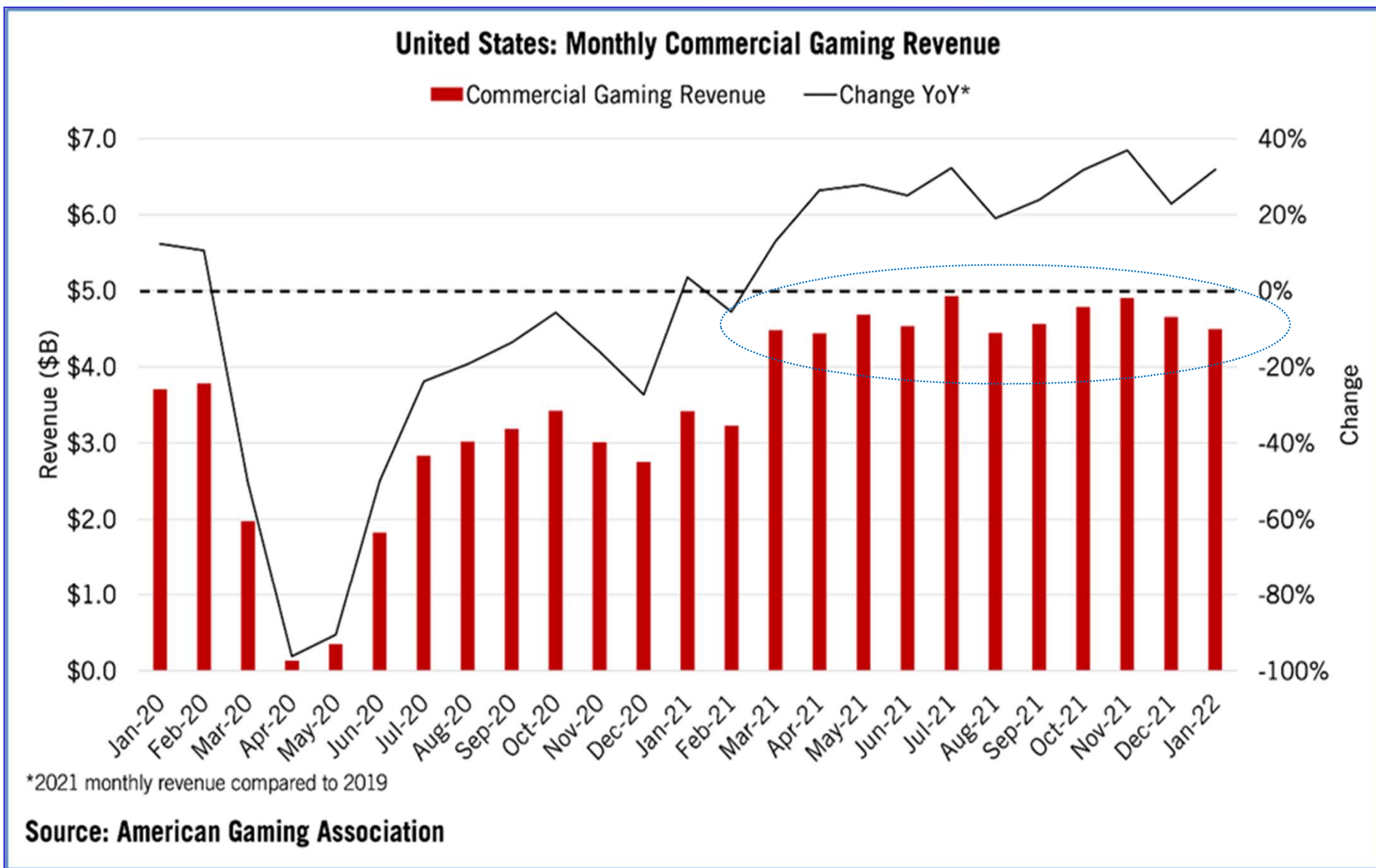
グローバルゲーミング



区分		2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比
北米・中南米	外貨(千米\$)	59,958	59,978	35,321	47,529	+12,208
	邦貨(百万円)	6,617	6,552	3,761	5,245	+1,484
アジア・パシフィック	外貨(千米\$)	4,822	4,805	1,902	3,544	+1,642
	邦貨(百万円)	532	525	202	391	+189
欧州・アフリカ・中近東	外貨(千€)	48,511	24,052	15,643	8,428	△7,215
	邦貨(百万円)	6,308	2,939	1,906	1,098	△808
プリンター	外貨(千米\$)	33,667	30,016	14,007	24,574	+10,567
	外貨(千€)	7,073	9,085	5,876	4,947	△929
	邦貨(百万円)	4,635	4,389	2,207	3,357	+1,150
計	売上高(百万円)	18,094	14,405	8,077	10,093	+25.0% +2,015
	営業利益(〃)	21.9% 3,955	10.3% 1,486	△6.0% △486	14.6% 1,475	+20.6pt +1,961
平均為替レート	米ドル	110.37円	109.25円	106.44円	110.37円	+3.93円
	ユーロ	130.05円	122.18円	121.95円	130.37円	+8.42円

欧州においては各国で感染状況や行動規制等に違いもあり、低調な推移に留まりましたが、北米では、コマースゲーミング市場が2021年以前には月間収益が40億ドルを超えたことはありませんでしたが、次ページ表のように3～12月まで毎月クリアするような記録的な1年になったこともあり、想定以上の需要となりました。

ただ、北米市場でもまだコロナ禍前の8割程度の回復に留まっております。



区分		2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比
北米・中南米	外貨(千米\$)	7,559	6,347	6,594	8,630	+2,036
	邦貨(百万円)	834	693	701	952	+ 251
アジア・ パシフィック	外貨(千米\$)	3,111	2,730	4,730	3,862	△ 868
	邦貨(百万円)	343	298	503	426	△ 77
欧州・アフリカ・ 中近東	外貨(千€)	16,502	13,186	12,379	22,434	+10,055
	邦貨(百万円)	2,146	1,611	1,509	2,924	+1,415
プリンター	外貨(千米\$)	428	198	296	521	+ 225
	邦貨(百万円)	47	21	31	57	+ 26
計	売上高(百万円)	3,371	2,624	2,746	4,361	+58.8% +1,614
	営業利益(〃)	△ 6.8% △ 228	△ 33.4% △ 877	△ 28.8% △ 791	4.8% 209	+33.6pt +1,001
平均為替レート	米ドル	110.37円	109.25円	106.44円	110.37円	+ 3.93円
	ユーロ	130.05円	122.18円	121.95円	130.37円	+ 8.42円

○ 北・中南米地域の市場開拓を目的として、販売子会社を設立(2022年1月)

コマース市場に特化した事業拠点を開設し、今後の当事業の主軸を担う体制の構築を目指す

○ 欧州にて、金融及び小売向けにソリューションを提供する大手企業のセルフチェックアウト
機器向けなどに採用されたこともあり、販売が好調に推移

○ 増収要因に加えて、開発完了等による研究開発費用の減少等もあり、4期ぶりにセグメント
利益を確保

(百万円)

	2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比	
売上高	2,668	2,795	1,704	1,839	+ 7.9%	+ 135
営業利益	9.3% 248	16.2% 453	6.7% 115	4.7% 86	△ 2.0pt	△ 29

- 精算時における非接触・非対面化の進行に関連する製品の需要が高まり、飲食店セルフオーダー券売機向けやセルフガソリンスタンド精算機向けの紙幣還流ユニット及び硬貨還流ユニットの販売が堅調に推移
- キャッシュレス対応精算機をはじめとする新製品等の開発費用の増加により、減益

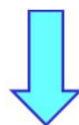
(百万円)

	2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比	
売上高	7,136	6,283	4,482	3,746	△16.4%	△ 736
営業利益	△ 3.2% △ 228	△ 2.4% △ 149	△22.0% △ 986	△10.5% △ 391	+11.6pt	+ 595

- 店舗数、遊技人口の減少傾向が続く厳しい市場環境のなか、更に新型コロナ禍の影響からパチンコホールは稼働回復に時間を要しており、今年1月末を期限とした新規則機への入替えに合わせた需要に期待していたが、周辺機器までの設備投資には至らず、減収
- 工事案件の内製化による収益率改善や人員体制の再構築、営業所の統廃合等の経費削減などにより、損失額は減少したものの5期連続の損失計上

■ 2023年3月期連結業績予想については'未定'とする

世界経済の回復に伴い、ゲーミング市場を中心に当社製品に対する需要は回復基調の継続が見込まれる



しかし、半導体等の電子部品の供給不足等に伴う販売機会の逸失の懸念があり、現時点でその不足解消については未知数なところが多い

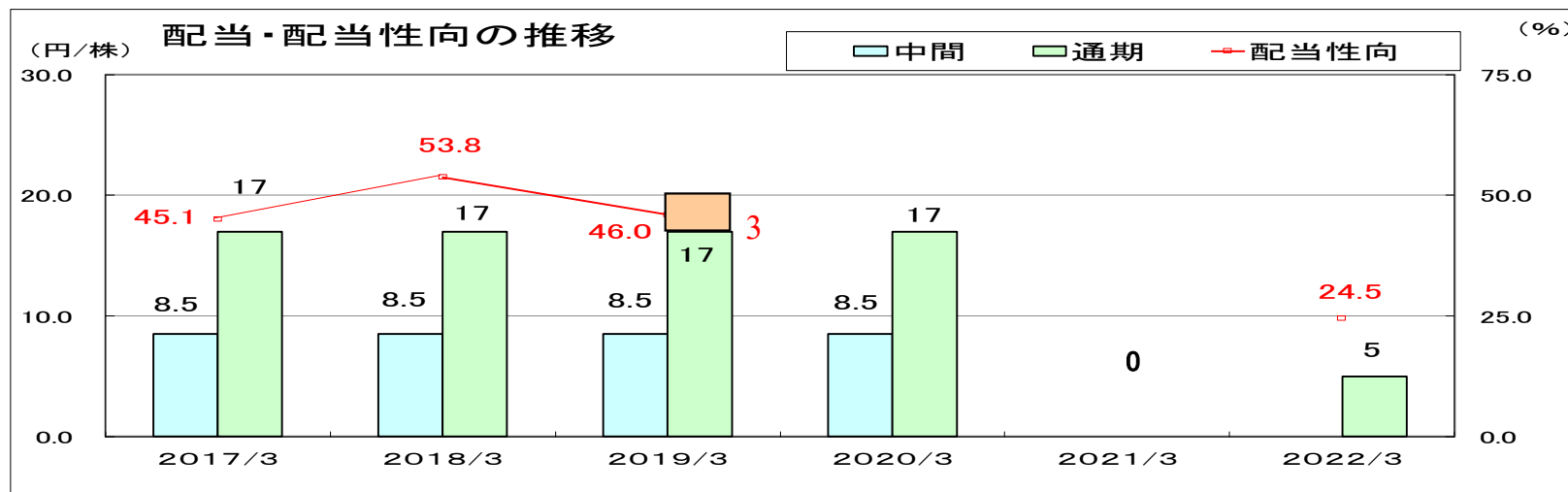


現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、見送ることとする

■ 2023年3月期の配当についても'未定'とする

業績予想を未定としていることもあり、配当についても未定とする

2022年3月期 期末配当で復配



※2019/3には3円の記念配当を実施

1株当たり利益推移(円) **37.7** **31.6** **43.5** **△60.6** **△254.8** **20.4**

配当性向推移(%) **45.1** **53.8** **46.0** **—** **—** **24.5**

純資産配当率(%) **1.6** **1.5** **1.8** **1.6** **—** **0.7**

配当総額(百万円) **456** **503** **592** **504** **—** **148**

《 配当方針 》 業績連動型株主還元を継続

・配当性向(連結) 30%以上 ・純資産配当率 2.0%以上 を目指す

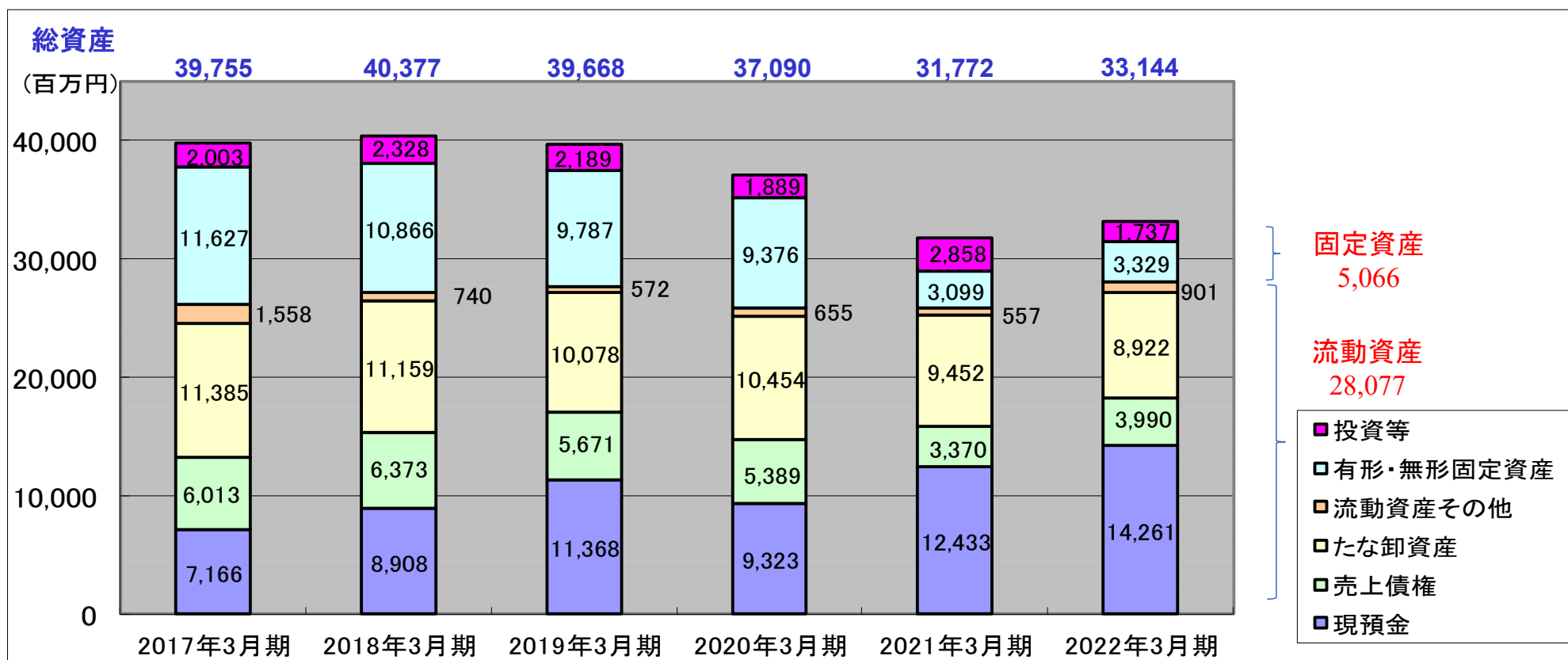
・貸借対照表	・・16,17
・キャッシュ・フロー	・・18
・設備投資額、減価償却費、研究開発費の推移	・・19
・為替影響	・・20
・半期別業績推移（2020/3～2022/3月期）	・・21
・四半期別・セグメント別売上高推移（2020/3～2022/3月期）	・・22
・事業セグメントの概要	・・23,24
・世界のゲーミング市場における高いブランド力	・・25
・ESGへの取り組み	・・26～28

資産 : +13億71百万円

(前期末比)

流動資産 + 22億62百万円 : 現預金 +1,828、売上債権 +620、たな卸資産 △529

固定資産 △ 8億91百万円 : 有形・無形固定資産 +229、投資その他 △1,163



決算期末日レート

米ドル	112.18	106.31	111.01	108.83	110.72	122.41
ユーロ	119.81	130.81	124.66	119.55	129.82	136.85

単位:百万円

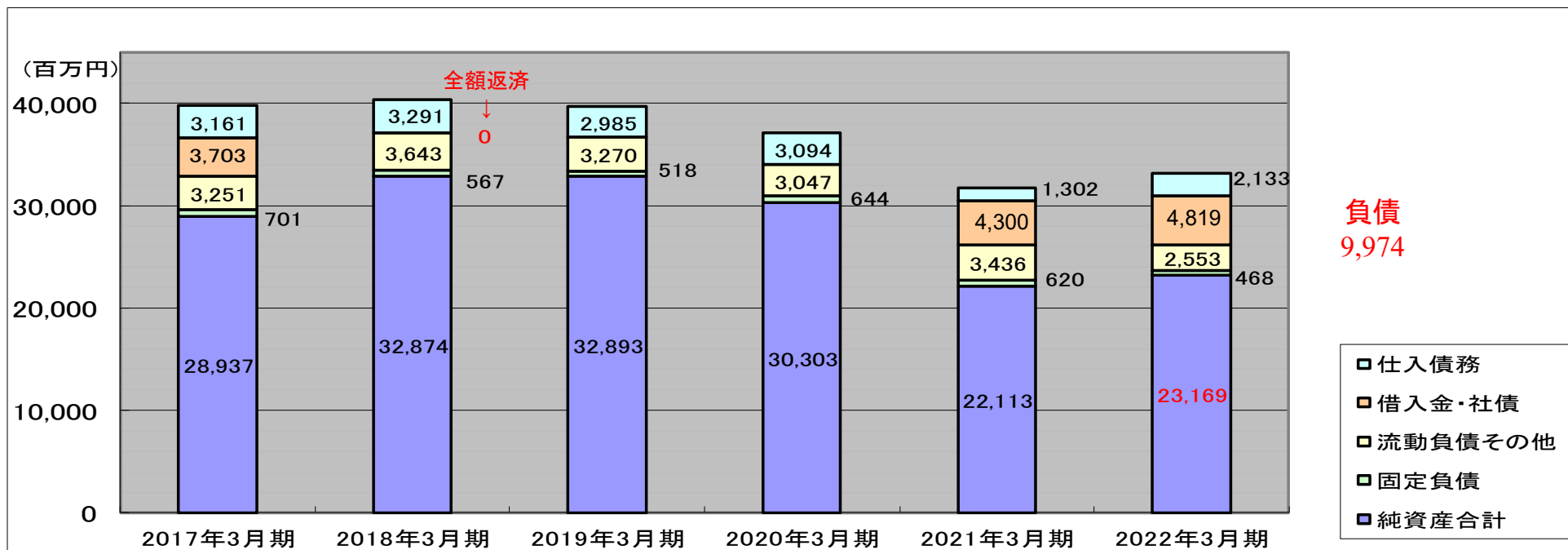
負債： + 3億15百万円 (前期末比)

流動負債 △36億32百万円 : 仕入債務 +830、短期借入金 △3,581

固定負債 +39億47百万円 : 長期借入金 +4,100

純資産： +10億56百万円 : 利益剰余金 +616、為替換算調整勘定 +631

負債・純資産 39,755 40,377 39,668 37,090 31,772 33,144



負債
9,974

- 仕入債務
- 借入金・社債
- 流動負債その他
- 固定負債
- 純資産合計

自己資本比率(%) 72.7 81.4 82.9 81.7 69.6 69.9

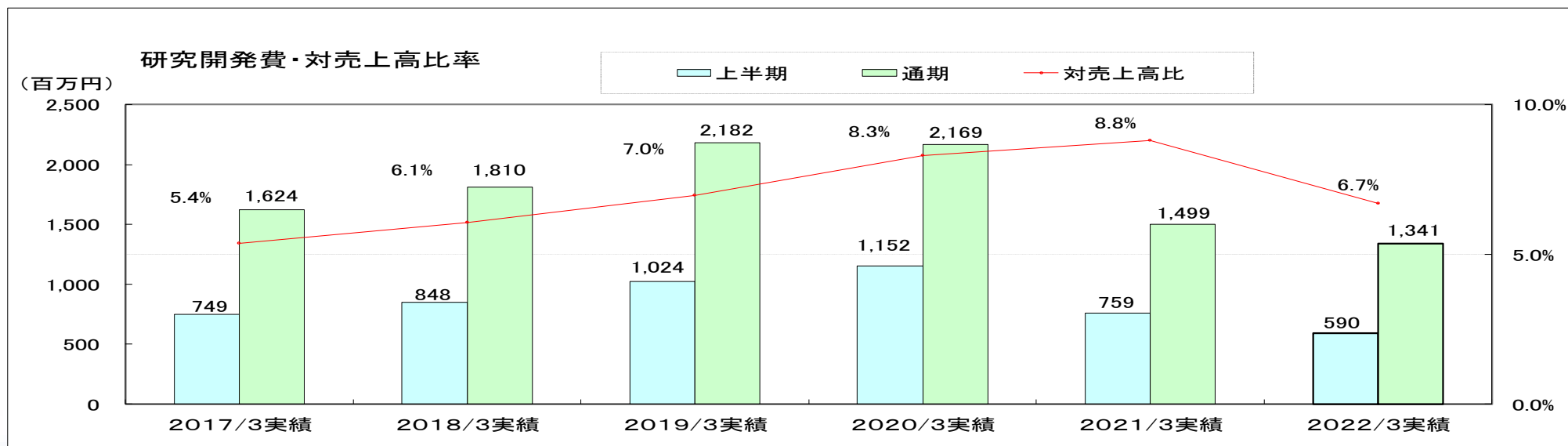
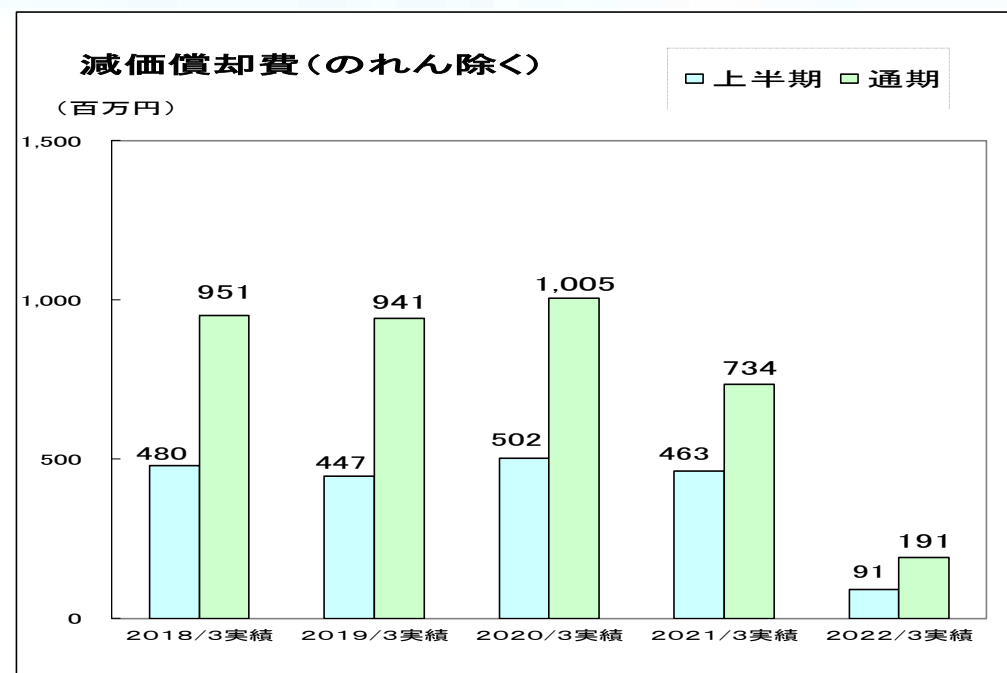
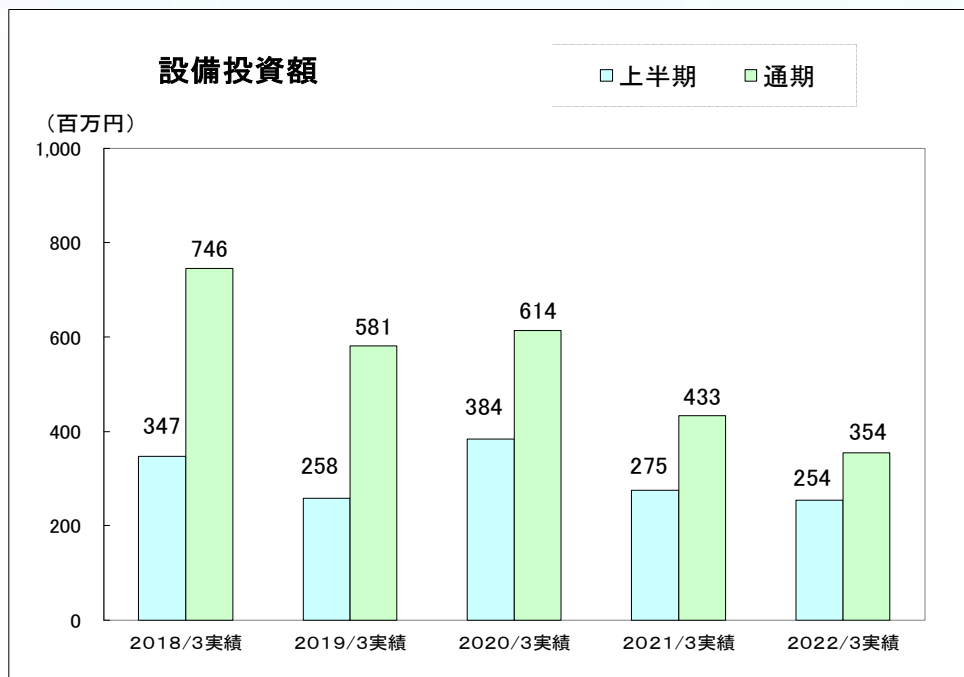
1株当たり純資産(円) 1,080.96 1,108.57 1,109.70 1,021.68 745.55 781.16

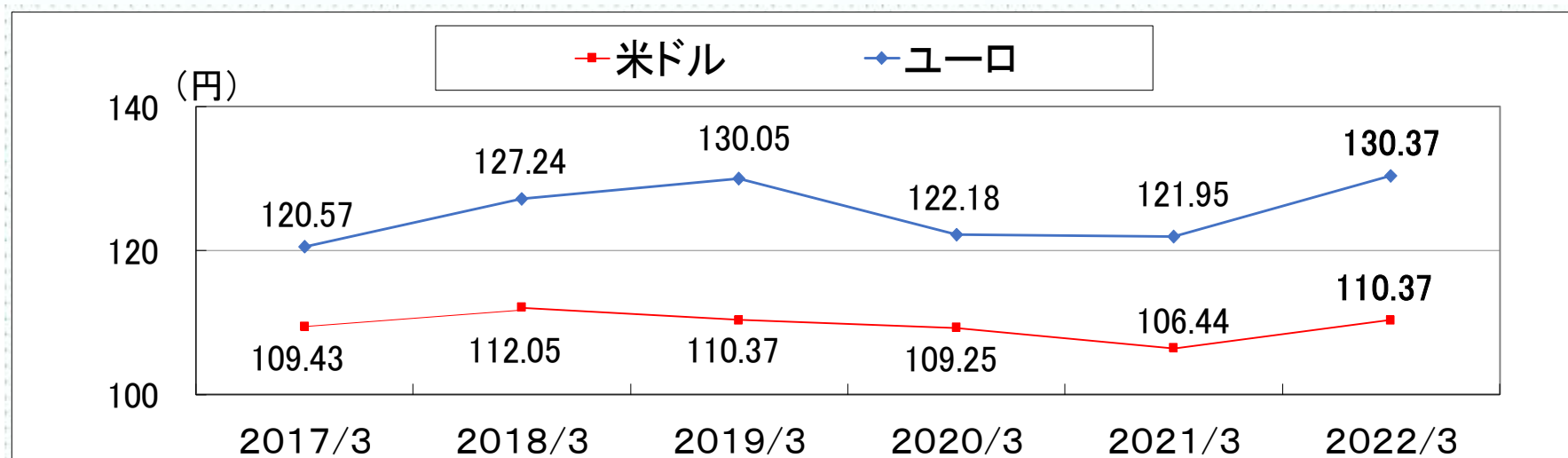
単位:百万円

- ・営業CF：純利益 1,384、減価償却費 191、運転資本(売上債権、棚卸資産、仕入債務)の増減 +1,445
- ・投資CF：有形固定資産取得 Δ 207
- ・財務CF：借入・社債発行 +470

	'18/3月期	'19/3月期	'20/3月期	'21/3月期	'22/3月期
営業活動によるCF	3,461	3,601	Δ 658	Δ 843	1,333
投資活動によるCF	Δ 694	Δ 556	Δ 610	Δ 34	Δ 255
財務活動によるCF	Δ 940	Δ 535	Δ 630	3,987	397
現金及び同等物に係る換算差額	Δ 84	Δ 50	Δ 144	0	352
現金及び同等物の増加額	1,741	2,459	Δ 2,044	3,109	1,828
現金及び同等物 期末残高	8,888	11,348	9,303	12,413	14,241
フリー・キャッシュ・フロー	2,766	3,045	Δ 1,268	Δ 878	1,077

※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー





1円変動による営業利益への影響額 (通期：百万円)

※円安が業績にプラスに

米ドル	21	23	32	29	29	30
ユーロ	5	9	7	4	5	5

◇期中平均レート (円)

	2022/3実績	為替感応度 ～売上高～(百万円)
米ドル	110.37	87
ユーロ	130.37	35

◇期末日レート (円)

	2022/3実績	為替感応度 ～営業外～(百万円)
米ドル	122.41	42
ユーロ	136.85	4

	2020/3実績			2021/3実績			2022/3実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	13,508	12,601	26,109	8,105	8,905	17,010	9,009	11,031	20,040
売上原価	8,219	8,273	16,492	5,370	6,350	11,721	5,486	6,956	12,443
売上総利益	39.2% 5,288	34.3% 4,328	36.8% 9,616	33.7% 2,734	28.7% 2,554	31.1% 5,289	39.1% 3,523	36.9% 4,074	37.9% 7,596
販管費	5,226	5,120	10,346	4,237	3,640	7,878	3,249	3,780	7,027
営業利益	0.5% 62	-6.3% △ 792	-2.8% △ 730	-18.5% △ 1,502	-12.2% △ 1,086	-15.2% △ 2,589	3.0% 274	2.7% 294	2.8% 568
営業外損益	△ 165	34	△ 131	△ 58	△ 254	△ 313	50	767	816
経常利益	-0.8% △ 103	-6.0% △ 758	-3.3% △ 861	-19.3% △ 1,561	-15.1% △ 1,341	-17.1% △ 2,902	3.6% 324	9.6% 1,060	6.9% 1,384
特別損益	△ 29	△ 542	△ 571	△ 32	△ 5,305	△ 5,338	0	0	0
税引前利益	△ 133	△ 1,300	△ 1,433	△ 1,593	△ 6,647	△ 8,241	324	1,060	1,384
法人税等	157	206	362	△ 42	△ 640	△ 682	150	629	779
純利益	-2.1% △ 290	-12.0% △ 1,506	-6.9% △ 1,796	-19.1% △ 1,551	-67.5% △ 6,007	-44.4% △ 7,558	1.9% 174	3.9% 431	3.0% 605

平均為替レート

米ドル	109.99円	108.51円	109.25円	108.25円	104.63円	106.44円	108.46円	112.28円	110.37円
ユーロ	124.11円	120.25円	122.18円	119.38円	124.52円	121.95円	130.48円	130.26円	130.37円

(補足) 特別損益の主な内容

- ・2020年3月期 事業構造改善費用 △424、訴訟関連費用 △99、投資有価証券評価損 △39
- ・2021年3月期 減損損失(のれん他) △5,658、固定資産売却益 +323

単位：百万円

	2020/3実績					2021/3実績					2022/3実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	6,967	6,541	6,373	6,228	26,109	5,093	3,012	4,761	4,144	17,010	4,097	4,912	5,569	5,462	20,040
グローバルゲーミング*	3,798	3,896	3,185	3,525	14,405	3,104	920	1,994	2,059	8,077	1,825	2,303	2,849	3,116	10,093
(内数)プリンター	(1,019)	(1,100)	(1,082)	(1,187)	(4,389)	(906)	(268)	(496)	(537)	(2,207)	(607)	(885)	(918)	(947)	(3,357)
海外コマース	756	661	606	600	2,624	725	515	904	602	2,746	979	1,221	1,126	1,035	4,361
(内数)プリンター	(6)	(7)	(4)	(4)	(21)	(10)	(9)	(4)	(7)	(31)	(11)	(15)	(14)	(17)	(57)
国内コマース	655	718	792	630	2,795	422	335	484	463	1,704	436	377	521	505	1,839
遊技場向機器	1,758	1,263	1,789	1,473	6,283	841	1,241	1,379	1,021	4,482	856	1,011	1,073	806	3,746

グローバルゲーミング

主な納入先：
スロットマシンメーカー、カジノホール

ゲーミング向
サーマルプリンター



紙幣識別機



キオスク/精算機

海外・国内コマース



完成品メーカーへのユニットの販売



遊技場向機器

主な納入先：
パチンコホール



メダル自動補給回収
システム

紙幣搬送器



玉・メダル貸機



据置景品払出機



景品管理POS



グローバルゲーミング

競合企業

- ・Transact (USA)
- ・Nanoptix (CAN)

ゲーミング向
サーマルプリンター

70%



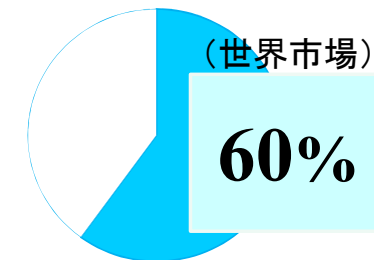
競合企業

- ・Crane payment innovations (MEI, Cash Code, Money Control : (USA))
- ・Innovative Technology (UK)

紙幣識別機

(世界市場)

60%



国内コマース



>50%

遊技場向機器

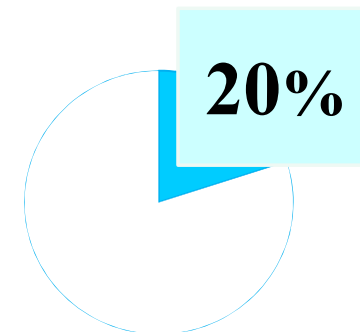


メダル自動補給回収システム

競合企業

- ・(株)オーイズミ (6428)
- ・(株)ジェッター (非上場)

20%



JCMグループは、米州、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しております。現在、北米で約200のゲーミングライセンスを取得しており、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であると考えております。



世界最大規模のゲーミングショー
(Global Gaming Expo:
通称'G2E'), ラスベガス



欧州最大のゲーミングショー
(International Casino Exhibition:
通称'ICEショー'), ロンドン



アジア最大のゲーミングショー
(Global Gaming Expo ASIA:
通称'G2E ASIA'), マカオ

カジノマシンのメーカーをはじめ、周辺機器、設備、システムやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーへ毎年出展し、新製品や最新技術をお披露目しております。

統合報告書(2021年3月期版)を初めて作成いたしました。当社のサステナビリティの取り組みについては、下記の弊社ウェブサイトをご参照ください。

[JCM統合報告書2021](#)

●環境(Environment)

- 当社グループでは、REACH対応やRoHS指令で定められた制限物質への対応はもちろん、国内外における環境関連法令や規制を遵守し、環境に負荷を与える化学物質の削減に努めております。
- 武装勢力の資金源にならないように、コンフリクトミネラル(紛争鉱物)は使用しないことにしております。



環境目標

<p>国内外環境法規制を遵守する。</p> <hr/> <p>数値目標 環境関連法規制違反、汚染事故、環境クレーム 0件</p>	<p>グリーン調達 (RoHS、REACH) に対応した製品作りを実施する。</p> <hr/> <p>数値目標 グリーン調達不適合 0件</p>	<p>コンフリクトミネラル(紛争鉱物)の不使用に取り組む。</p> <hr/> <p>数値目標 対象鉱物使用 0件</p>
---	--	--

当社は、気候変動等の環境問題を社会と事業の持続性にとっての重要課題として認識し、事業活動による環境負荷の低減を目指してまいります。

●社会 (Social)

- ・当社が製造販売している紙幣識別機は高度な技術により、偽造券を排除し、違法な資金の流通を大幅に減少させ、あらゆる形態の組織犯罪の根絶に貢献しております。



〈社会貢献〉

- ・米国子会社JACが冠スポンサーとなり、2021年で22回目となるゴルフ大会を開催。(20年は未開催)
この大会で得られた収益金はゲーミング依存症等の調査機関へ全額寄付しておりますが、累計で2.3億円を超える金額になっております。
- ・大阪府内の障がい者就労施設の方々に月に2度、大阪本社で昼食時にパン・ラスクの販売の機会を提供しております。



AGEM: Association of Gaming Equipment Manufacturers
AGA: American Gaming Association



●ガバナンス(Governance)

・ゲーミングライセンスの継続維持に向けたグローバルガバナンスの強化

米国におけるゲーミング・ビジネスに従事するためには、ライセンスを申請・取得することが求められ、審査は役員資産状況等の個人情報チェックなど多岐にわたる非常に厳格なものであり、かつ許諾後も全ての行為は常に規制と監視の対象になります。

当社はさまざまな状況においても販売を可能とするために弊社グループにおけるグローバルガバナンスの強化に取り組んでおります。

〈コーポレートガバナンス体制〉

・指名報酬諮問委員会を設置 (2021.1~)

取締役会の諮問機関である同委員会は、客観的かつ公正な視点から、当社の取締役、監査役、執行役員などの選解任、報酬、当社取締役社長の候補者計画(サクセッションプラン)等について審議する役割を担っております。構成については、議長及び委員の過半数を独立社外役員とし、客観性・透明性を確保しております。尚、任期は1年としております。



・独立社外取締役を3分の1以上選任 (2021.6~)

取締役会



〔参考〕監査役会



日本金銭機械株式会社 (日本語)

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global(English)

<https://jcmglobal.com/>

過去の決算説明会資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。

「株主・投資家の皆さまへ」⇒「IRイベント」⇒「IR説明会」

お問合せ先 : 経営企画本部 広報・IR担当 06-6703-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。